# 正義論としてのリバタリアニズムーロックからノージックへ一

群馬大学社会情報学部 井上 彰

# リバタリアニズムとは何か?

リバタリアニズムと聞くと・・・

- •選択の自由になにより価値を置く立場
- ●市場での自由な取引を(それがいかなる帰結を招こうが)原則的に正当化する立場
- •ネオ・リベラリズムに類似するもの

以上のような反応が返ってくることが多い

# リバタリアニズムの分類として (森村 2001:1章)

- ① 自然権リバタリアニズム 人間が等しく有する自然権を基点として、その(通常状態における)不可侵性を謳う立場
- ② 帰結主義リバタリアニズム 自由を尊重する社会は、当事者の幸福の総 和を最大化しうると主張する立場
- ③ 契約論リバタリアニズム 自由を尊重する社会こそ、当事者が合理的 (理性的)に契約に到る唯一のものであると する立場

# リバタリアニズムの標準的分類に対する 疑念

### 【②と③の立場】

自由を尊重する社会=リバタリアン「的」社会が正当化対象としてすでに想定済み

そのうえで、当該社会の構想を間接的に正当化するやり方(②は功利の原理、③は契約)

#### 【②と③をリバタリアンとする根拠】

家族的類似性に訴える類の政治的イデオロギーとしてのリバタリアニズム

# 政治的イデオロギーとしてのリバタリアニ ズムの問題点

ほかでもないリバタリアニズムのリバタリアンたる所以を提示し得ない点

①のみ、その難点を免れている

自由を尊重するという、まさしくその内実を明らかにしうる唯一の立場

自然権 = 自己所有権self-ownershipを基点としながら、自由な社会の構想を描く立場

### 正義論としてのリバタリアニズム

自己所有権の原理を使って、自由の重要性、 およびその自由を最大限尊重する社会構想 (=正義論)を擁するリバタリアニズム

#### 【自己所有権の原理とは】

各人は自分の心身をコントロールし使用する完全かつ排他的な権利を有するがゆえに、契約を抜きにしては、サービスや財を他人に供与する義務を負わない(Cohen 1995: 12)

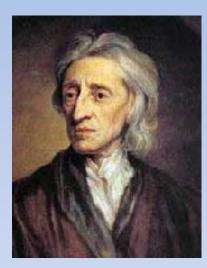
#### ロバート・ノージック(1938-2002)

著作権の都合により、 ここに挿入されていた画像を削除しました。

http://www.news.harvard.edu/gazette/2002/01.17/99-nozick.html

- 正義論としてのリバタリアン構想を提唱した『アナー・国家・ユートピア』(Nozick 1974)を著した哲学者
  - 政治哲学に関する著作はこれのみで、認識論やメタフィジックス等でも優れた業績を残したことで知られる

# ジョン・ロック『統治二論』(Locke 1960)から何を継承したのか?



Wikipediaより転載 http://ja.wikipedia.org/wiki/ファイル:John\_Locke.jpg

(1632-1704)

自然状態において完全に自由か つ平等な存在としての人間:

自然法の範囲内で、自由にプロパティを処理しうる権利(=自然権)を等しく有する

e.g. 自然権の侵害→処罰権

## 原始取得の問題

#### 【先鋭的問題】

プロパティのなかでも外的対象の所有に対する 権原entitlementの生起、すなわち

#### 原始取得original appropriationをめぐる問題

自己所有権の行使(≒労働)による所有権の生 起をどう正当化しうるのか?

『統治二論』第2篇第5章 「所有権について」 そのなかの第27節

# ロックの但し書きproviso(s)

#### 混合労働mixed labour:

自然が供給し自然が残しておいたものから取り出すものはなんであれ、自分の労働を混合し、それに彼自身のものを加えたのであって、それにより彼自身の所有物とする

但し、次の条件を充たさなければならない:

共有物として他人にも充分かつ善きものが残されていること

enough and as good left in common for others

## ちなみにロックの但し書きをめぐっては

原始取得の正当性(所有権の生起)を担保する自然法として:

- •その必要条件を構成するか?
- •それとも充分条件を構成するか?

ロックがもう1つの但し書き(所有物を腐敗させたり破壊したりしてはならないとする条件 第2篇第31節)を提示している以上、必要条件とみるのが自然ではあるが・・・(Simmons 1992: 278-98; cf. Waldron 2002: 172-73)

# ノージックのリバタリアニズム: (1) 歴史的権原理論

正義を構成する2つの原理をつかさどるもの:

- ①獲得の正義justice in acquisition 原始取得を正当化し、それによって確立した所有 権を保障する正義
- ②移転の正義justice in transfer
- ①で正当化された所有権の移転に関する正義

【①と②で構成される正義原理】 歴史的原理historical principlesと呼ばれるもの

### 歴史的原理と分配的正義原理との違い

#### 【歴史的原理】

原始取得から移転に到る経緯のみで現時点の 資源分布の正当性をみる もし不正があれば匡正rectification

【分配的正義原理】

正しい資源分布が時点切片time-sliceごとに構造的に決まってくるとする原理

結果状態原理end-state principles

## 獲得の正義の圧倒的重要性

移転の正義は獲得の正義が包含:

なぜなら財の正当な移転は、(他者の権原を侵害しないかぎりでの)自己所有権の行使および所有権の処理の範疇に入るから

【獲得の正義の観点からでもいえること】 権原を無視しての(再)分配=(交換の)自由を 蔑ろにすること

ノージックをして「(再分配を目的とした)課税は強制 労働に等しい」と言わしめる理由(Nozick 1974: 169)

# 移転の正義をめぐるノージックの議論の問題点

- ノージックは自発的な所有移転(=自由な交換) はいかなる分配的正義のパタンをも覆すupsetと する比較的単純な議論を展開
  - それがWilt Chamberlainの例証(Nozick 1974: 160-4)
- だがそのとき問われてくるのは、当の自発性 voluntarinessの条件である、にもかかわらず
- ノージックは自発性の条件について、ほとんど議 論をしていない
  - その点を厳しく精査するのが Cohen 1995: Ch. 1-2 と Olseretti 2004: Ch. 4-6

# ノージックのリバタリアニズム: (2) ロック的但し書き

ノージックが獲得の正義原理として位置づけるのがロック的但し書きthe Lockean proviso:

− 他人に充分かつ同質のものを残しておくこともし字義通りに解釈すると、原始取得はほとんどのケースで認められないことになる↓そこで

他者の状況を悪化させないmaking nobody worse off場合(かつその場合に限り)、とする条件として再構成

## ロック的但し書きの弱い解釈

基準線(baseline)問題:他者の状況を悪化させない事態とは?

弱い解釈:自然状態(原始取得前)の状況か?

強い解釈: 当の他者が原始取得した場合に得られ

る(であろう)福利well-beingを基準とするのか?

ノージック自身はどの解釈をとるべきかについて、あまりはっきりとは述べていない!

とはいえ、弱い解釈の方が妥当だと考えているよう だ(Nozick 1974: 178-9)

### ノージックが示したこと

- リバタリアンにとって獲得の正義原理は:
- ①現在の世界の資源分布についての正否(の程度)を示す最重要原理であること
- ②移転の正義原理をも包含する点で、(自己所有権の行使および所有権の処理というかたちでの)自由の重要性を含意するもの

とはいえノージックは、①妥当な獲得の正義原理について、その内容をはっきりとは示していないし、②自由交換を決定づける自発性の条件についても明らかにしていない!

## 左派リバタリアニズムの可能性

【左派リバタリアニズム(left-libertarianism)とは】 自己所有権の原理を基点とするものの、獲得 の正義原理として平等主義的正義原理を擁す る立場(Vallentyne 2009: 148-9)

左派リバタリアニズムの三羽がらす ヒレル・スタイナー ピーター・ヴァレンタイン マイケル・オーツカ

# オーツカのノージック批判 (Otsuka 2003: Ch. 1)

【ノージックのロック的但し書き(弱い解釈)】 原始取得前の(自然)状態がいかなる状態かについて踏み込んだ検討を行わない点で問題がある

#### <u>2つの問題点:</u>

- ①原始取得と引き替えに支払うべき補償(賠償) compensation額がかなり低くなる可能性
- ②生まれや育ちにみられる能力の不平等は考慮されない

### オーツカの平等主義的但し書き

【ロック的但し書きの平等主義的再構成】 原始取得は、他人に同じだけの福利が得られる有 効な機会effective opportunityを等しく残しておく場 合、かつその場合に限り、正当なものとされる (Otsuka 2003: 24-9; Vallentyne 2009: 148-9)

#### <u>その特徴:</u>

- ①理に適ったreasonable補償額
- ②(先天的な能力差等の)道徳的恣意性moral arbitrarinessの影響を緩和する実質的な機会の平等:自発性の条件

# 論点

- 正義論としてのリバタリアニズムこそが唯一 無二のリバタリアニズムだとする主張につい てどう思うか?
  - 自己所有権の原理を基点とすること
  - 獲得の正義原理の圧倒的重要性をめぐって
- ノージックの分配的正義原理批判について、 どう考えるか?
- 左派リバタリアニズム(オーツカの議論)についてどう思うか?

#### 2011年11月14日(俯瞰講義『正義を問い直す』配布資料)

#### 正義論としてのリバタリアニズム―ロックからノージックへ― 参考文献(読書案内)

#### リバタリアニズムとは?(正義論としてのリバタリアニズムとは何かを知るために)

- ・森村進(2001)『自由はどこまで可能か:リバタリアニズム入門』講談社現代新書
- •G. A. Cohen (1995) Self-Ownership, Freedom, and Equality. Cambridge: Cambridge University Press. (松井暁•中村宗之訳『自己所有権•自由•平等』青木書店、2005年)
- •R. Nozick (1974) Anarchy, State, and Utopia. Oxford: Basil Blackwell. (嶋津格訳『アナーキー・国家・ユートピア: 国家の正当性とその限界』木鐸社、1994年)

#### ジョン・ロックについて(分析的政治哲学の立場からのロック理解を知るために)

- •J. Locke (1690[1960]) Two Treatises of Government. P. Laslett (ed.) Cambridge: Cambridge University Press. (加藤節訳『完訳版 統治二論』岩波文庫、2010年)
- A. John Simmons (1992) The Lockean Theory of Rights. Princeton, NJ: Princeton University Press, chapters 2 and 5.
- •J. Waldron (2002) *God, Locke, and Equality: Christian Foundations in Locke's Political Thought.* Cambridge: Cambridge University Press, chapter 6.

#### ノージックへの分析的批判

- ・J. Wolff (1991) Robert Nozick: Property, Justice, and the Minimal State. Oxford: Basil Blackwell. (森村進・森村たまき訳『ノージック:所有・正義・最小国家』勁草書房、1994年)
- •S. Olsaretti (2004) *Liberty, Desert and the Market: A Philosophical Study.* Cambridge: Cambridge University Press, chapter 4.
- •R. M. Bader and J. Meadowcroft (eds.) (2011) *The Cambridge Companion to Nozick's Anarchy, State, and Utopia.* New York: Cambridge University Press.

#### 左派リバタリアニズムについて

- P. Vallentyne (2009) "Left-Libertarianism and Liberty." In T. Christiano and J. Christman (eds) *Contemporary Debates in Political Philosophy.* Oxford: Wiley-Blackwell.
- •M. Otsuka (2003) Libertarianism without Inequality. New York: Oxford University Press, chapter 1.
- A. Inoue (2007) "Can a Right of Self-Ownership be Robust?" Law and Philosophy 26: 575-587.